

バストス週報

第七四七号
昭和卅九年
七月卅一日
発行

DIRETOR
KOITI RIORI
REDATOR
SHION ODA

R. PRES.
VARGAS, 188
C. P. 112

BASTOS
C. P.

ANUAL
CR. \$
1.000,00

逸球 30

王 碎

互となりてのこるより、王となりて碎けよ、という有名な歌がある。負けぬというの、男らしさというの、意味に解釈してみよう。だが、どうであろうか。去る七月二十六日コペルコチア球場で行われたパ社主催全伯少年野球の優勝戦はバストス対モジマス。バ軍先攻午後二時勇ましいサイレンのひびきと共に始まった。モジ軍応援の人々によると、優勝の信念があったらしく、少年軍最高の体力と技能を備えて居り、しかも好調だといふのである。戦端開始、両軍よく攻めようとする。この分なら、ひよとすると、バ軍相当のいきがる。結果から見ると、O×4化を期待したが、結果から見ると、O×4Aという優勝戦としては、萃々しからぬ戦績をのこしてしまつた。しかし、此の戦績を、実際に見た人たちの印象は、試合の経過と共に、じりじりとのしかかってくる。相手の戦力を、くいとめようとして、歯をくいしばって堪えている。バ軍ナインの奮闘を、柔道の試合にたとえて見なかつたであろうか。寝技に引き込まれて、おくり襟で首を絞められて居る。バ選手が、渾力を振るって、はねかえそうとしている。姿である。

バ軍この日、午前中のウエンスラウ軍との一戦で、殆んど体力と精神力の全部を消耗し尽して居た。数時間後の優勝戦を戦うために、体力の整備ができていない。このいう事をかきと、それはバストス軍だけの問題ではない。相手軍だとして同じコンジソンにおかれて居るといえる。だろ、色々な都合で、せいとくは、去る復が、休養時間が短かくて、体力の回復が、できない。その試合にのみ、みは、すい、本場でも一日に二試合というのは無理である。バストス軍に戦意が欠けていたわけはない。戦意は火と燃えているが、からだがいふことをさかさない。とくに投手の肩は、よわつていて、第一第二試合時に見え互えが、なく、四球が目立ち、いつも走者を壘上におかなく、深傷を負って、不利なゲームで、身心ともに深傷を負って、からだごとく、不敵な笑をニツと浅して、からだごとく、ぶつかつていく。投球が、いたいたし

Alfaiataria Imperial



丸山洋服店

ちっと寒いな、マールヤマのテルノで助かる

お食事は

うさみ

お泊りは

うさみ

おいしくて、せいけつ

HOTEL USSAMI

ホテル
宇佐美



ロードビアリオ前 電話 22 c. Postal 24 Bastos

Sapataria Bastos

早川靴店



よい品は長もちする
よいクツは長もちする
早川のクツは
長もちする
そして、かろくて
そして、安くて
三びようし

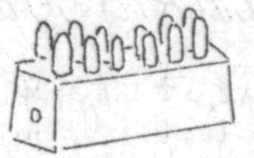
くて正視に堪えない。監督が投手交代を
 行ったがやはり結果は思わしくなく、
 バ軍毎回乱打を浴びたが守備固くエラー
 もいくつかはあったが、都度混乱を示さ
 なかったのは立派であった。
 太平洋戦争でアツツ島、硫黄島、沖縄
 その他の島々で日本軍は玉砕している
 孤立無援、しかも敵軍の大戦力におしつ
 ぶに比べながら勇敢に戦った。野球と戦争
 とは比較しておかしい。規模も様相も
 ちがっているが、勝敗を超えて全力を
 かけて戦う戦士の斗魂には一脈相通するも
 のがある。
 戦斗のかけ引も進展も成り行きにまか
 せるしかない悲壮な戦いで、試合として
 見る時にはつまらない一戦だったかもし
 知れないが、郷土の人が見ると涙ぐまし
 い一巻の錦絵だった。

バストス軍は初日ジャレスを降し、オニ
 自不戦一勝のマウアをも退け、第三日敵
 佐ンセスラウとぶつかった。バ軍は今年
 パウリスア線代表となったものの、充実
 したチームとは云えないものがあつた。
 それにも拘わらず、第二試合までは順調
 に実力を発揮したが、吾々素人の目にも
 一塁への走力がにぶく、打力にも研究が
 足りない。つまり守備はよいが攻撃に今
 一步極積的でありたいと思われた。その
 打棒が、対左軍の時、火をふいたのであ
 る。左軍は優勝候補として自他共にゆる
 した精銳、そのさびさびとした動作など
 から受ける印象では、あっぱれという一
 語につざる。

試合は七回迄双方無得点、全くの投手
 戦で今期少年球戦唯一の延長戦に入つた。
 七回迄に双方共満塁の好機をつかみなが
 ら得点し得なかつたことは、一々に投手の
 力によるものといつていい。
 八回の表で左軍一点を得れば、裏でバ
 軍必死の一息を返し、補回二回目再び左
 軍一点を加える。球場はわくような騒ぎ
 である。八軍監督投手を交替させ、打痕
 を見計らつて攻撃にまわるや一死二走者
 の時三安打を内外野に放つて一挙二点を
 得、一点勝越しの逆転となる。満塁総立
 ちの感激の一戦であつた。
 この対オニ戦は実に少年野球としてほ
 まれに見る激戦であり、緊張した一戦で
 あつた。選手としても情魂をこの一挙に
 投入しつくしたかの如き思いがしたであ
 ろう。

勝つても負けるも時の運という。しかし
 その運というも、しさいに解剖してみると
 複雑な要素のひそんでいるのに驚く。
 とまれ、バストス軍は四條路に花と散
 った正行の鎧武者に彷彿たるものがあつ
 た。

C 治療器



お待ちかねのC治療器が
 新しく入荷いたしました。
 品不足のため、度々品切れ
 させて申し訳ありません。
 お急ぎ御入用の方は一日も早
 くお求め願います。

CURA-DÔR

バザル森重

電球
 三次商店の電球を譲けて販売して
 居ります。御入用の方は便利な当店
 を御利用下さい。
 大小皆そろつて居ります。

生長の家

コトエニ会

講師 吉岡正登 先生

御巡講

期日 来る八月二日午後七時半より
 会場 生長の家 会館

主催 生長の家バストス誌友会

谷口雅香先生の「生活読本」より
 先づ一週間で心絶対を明るくして
 結果を見よ

面白くない事や矢にくわぬ事があつても
 ふくれたり、泣きべきになつてはいけません。とん
 なに失敗や苦難がやそ来ても「今度はい
 ことが来ると」念じて心を明るく一週間まら
 しょう

御 礼

ブラ拓 演芸部

このたびの入植祭に私共の拙芸を披露させて頂いた。ただ、過ぎたところ、御声援と御花遣賜わりました事を厚く御礼申上げます。何分浅学幼稚な芸能ですが、今後共よろしく御指導下され度、紙上御挨拶の辞と致します。

○演芸部一同へ下さった御花

- 谷内 利男様 佐藤 実様
- 及川 充様 渡辺 洗濯店様
- 早川 靴店様 小田 健吉様
- 有馬 重一様 関口 秋吉様
- 佐藤 巖様 関口 秋子様
- 西村 和夫様 野村 喜一様
- 境井 啓視様 重道 商店様
- 田中 聖様 板垣 寿勢雄様
- 上田 幸音様 橋本 巖様
- 奥田 忠威様 長谷川 栄様
- 青木 源太郎様 竹田 務様
- 右川 武夫様 荒木 康様
- 大高 治夫様 榊 浦電太郎様
- 和田 春茂様 宮崎 亨真様
- 河本 忠雄様 生方 正義様
- 佐藤 孝子様 梶田 商店様
- 倉本 洗濯店様

○演芸部 踊子一同へ

- 梶田 商店様 フト 島本様
- 鈴木 まつの 原野 英美様
- 板垣 寿勢雄 倉本 洗濯店様
- 小茂田 呉服店 宮崎 亨真様
- 重道 商店 榊 浦電太郎様
- 滝本 きみの

○練習中の御礼

部員練習中次の方々より激励のため数々の贈呈品を下さり御好意涙のこぼれる程嬉しかった。篤く御礼申上げます。

- 高木 行雄様 谷口 秋子様
- 田中 聖 有馬 重一様
- 重道 商店 大高 治夫様
- 谷内 利男

○個人花の丸山栄へ下さる御花

- 上田 幸音様 平井 千代美様
- 貝田 久美子 貝田 佐枝子様

○吉沢常夫へ下さる御花

- 矢野 俊平様 藤川 一喜様
- 佐藤 日本人 杉 藤 分 様

○梅津喜平へ下さる御花

- 藤川 一花様 内藤 重太郎様
- 福森 照夫

○島本繁雄へ下さる御花

- 佐藤 日本人 杉 藤 分 様
- 上原 一臣 へ下さる御花

○具田信男へ下さる御花

- 小川 利明様 梶山 茂平様
- 宮本 清子 志 梅田 ふみ様
- 野島 吉苗 大久保 健次郎様
- 安達 忠之助 前田 辰次様
- ホレル 宇佐 美 田川 七蔵様
- 岡田 宇都宮 米子 宇都宮 米子様
- 滝本 きみの 小茂田 呉服店様
- 吉本 茂三郎 吉沢 一 郎様
- 川上 彦 夫 土井 マリ 子 様
- 石橋 長 剛 橋本 秀 天 子 様
- 海野 幸 道 関口 和 子 様
- 前山 商店 田結 庄 子 様
- 子赴 商店 武田 重三郎 様
- 天野 君子 竹内 一 恵 子 様

○武田栄吉へ下さる御花

- 藤川 一花様 上田 幸音 様
- 梶田 商店 馬 欠 場 哲 夫 様
- 本田 正 雄

○竹内清一へ下さる御花

- 武田 よし子 武田 重三郎 様
- 佐藤 日本人 竹内 郁 子 様

○上原一臣へ下さる御花

- 佐藤 日本人 袴田 清 子 様
- 上田 幸音 早川 靴 店 様
- 重道 商店 柴田 とりの 様
- 橋元 てい 淡 立 雄 子 様
- 杉山 みつ の 竹内 ミリアン 様

○上原姉妹へ下さる御花

- 杉 藤 分 様

○戸谷みとえへ下さる御花

- 重道 商店 長谷川 すい 様
- 龜田 百 子 小谷 季 子 様
- カタシ 古川 石ト 島 本 様
- 永松 ナイル

○宮本嬢へ(前号の追加)

- 中興 岡村 様
- 緒方 時夫 様 緒方 嘉 作 様
- 石ト 島本 様

○瀬下ひろ子へ下さる御花

- 中京 マリア 様 フト 島本 様
- 梅津 喜平 様

アマゾン先生

アマゾン繊維植つつき

○マルバハ

ジュートについて重要なセンイ植物、原始林を開拓するときなど、その絶滅が困難なほど多量に自生し繁茂する。高さは一米半から二米の准灌木、麻又はゴマの茎ほどの幹から強靱なセンイがとれ、袋布や洋服地製造に混用される。ジュート麻より強く製法は同様、水のつく低地でないところ、特に高燥な丘陵地帯でも栽培できる。その一般向きである。

モンテアレグレ郡ドイスガリヨス村やアサイザール村の日本人農家の話では、開墾すると第一番に生えてくるのはマルバで始末に困っていたが、現地人がやつて来て、マルバは強いセンイを持っていて、一切の製造をやらないか、幼く万は私はい、利益は半々、というわけだ。始めはよい、種まきはやさしいし手入れもいらない、ただ労務者の賃金を支払っていないだけで、一町歩あたり十二万円くらいのお利益が入ってくる。製品はベレン市の辻小太郎さんや江村良三さんがいくつでも買ってくれるので、今度大仕掛けにやってみたいと思っている、ということであった。アマゾン中どこにもあるが、モンテアレグレ郡あたりを歩いてみると見渡す限りマルバの高原である。一、二本切りとつてステッキにしたら細くて軽くなる。しかも折れない丈夫で手ごろなものとなった。

○その他のセンイ植物

- コロアター 釣糸、魚網の材料
 - シドラ 上等の織物用センイがとれる
 - グラステレデ 近年製紙の原料に使用さる
 - ロティラ あみなわ、麻袋の製造原料
 - アニング 製紙原料
 - スマウマ 大木の実綿、ゴムの原料
 - ハウタルコ タワリ、クワイエ
 - カワツ 樹皮から煙草の巻紙がとれる
 - カインベ 紙やすりの代用となる葉
 - インベ 皮より強靱な綱や網の材料
 - パコウバ 葉から製糸の原料がとれる
 - タフア 茎でむしろを染む
 - ピアツサバ ほうき、たわしの原料
 - ツクワン 土人はハンモックを作る
- この外何十種あるが、無尽蔵である。資本と技術を以てすれば、洋々たる前途があるであろう。

花の御礼

伊藤 妙子

織田 しづ 杉 藤 妙子

戸田 ジツエ 緒 方 時 夫

浮田 ジツエ 佐 藤 かほる

三 鼓 楽 美 平 井 千 代 美

石 島 本 真 野 橋 元 野

今 野 トシ 橋 元 野

有 馬 佐 保 三 次 武 雄

加 藤 興 太 郎 (六 十 七 沢 山)

花の御礼

渡 辺 ちと夏

前山 商店 橋 元 野

伊藤 妙子 戸 田 ツイ子

織田 しづ 橋 元 野

花の御礼

河 本 光 子

三次 もみ 標 前山 商店 橋

梶 山 米 子 長 谷 川 ス

古 川 鶴 一 鈴 木 マツ

川 上 マツノ 真 木 諭 吉

友 谷 和 子 味 野 トシ子

野 島 境 井 崎 田 節 子

小 沢 よし子

光 石

御 礼

金 拾 コントス也 バストス誌友会へ寄付

金 五 コントス也 生長の家青年会へ

金 五 コントス也 白 鳩 婦 人 会 へ 寄 付

金 式 ミトス也 神 童 会 へ 寄 付

右之通特志を以て御寄贈賜わりました

ありがたく御礼申上ります

七月廿日 生長の家バストス誌友会

真木 諭 吉 様

御 礼

金 十 コントス也 バストス誌友会へ

金 五 コントス也 白 鳩 会 へ

今回特志御寄付を頂き有難く御礼申上ります

生長の家バストス誌友会

三次 武 雄 様

三次 もみ 様

10 アマゾンの味覚をつくる果実

アマゾン地帯の広い原始林には実にいろいろな果実がみえる。その種類も、質も数え上げればきりが無いが、ここでは主として油脂のとれる天然果実について重要なものを若干のべてみよう。だいたいは一般に用いられているものだけでも四、五種類以上はある。

一九五九年私は始めてピメンタドレノの産地として名高いパラ州トメアスー村を訪ね、巡回診察を行う機会を得た。人格者として知られている平賀錬吉さんにも会い、ピメンタドレノが試作以来大成功を収め、今日ではアマゾン地帯の主産物とまで云われて幾千もの家族が産を成しつつある実状を詳しく聞いた。故脊藤田治氏の旧宅では三十八年前に植えたというパラ栗が、みな一抱えほどの成長し、百本ほど整然と並んでいるのを見て「これなるかな」と懐旧の情をおさえることかできなかつた。トメアスー村の間に於て未今日までの苦勞を重ねた多くの人々、とくに今は亡き加藤友一脊藤田治の両氏には、平賀錬吉氏と共に心から敬意を表したい。

パラ栗は植えれば育ち、育てば実る。子供の頭大の黒褐色の果実で、熟して落ちたものを拾って山刀でたち割ると、七八個の菱形の実がころかり出る。この内果皮を破るとおいしい白色の実が現われ、その味は、メチオニン、コリンを多量に含み、すばらしい肝臓薬となる。同時に非常に美味で、食べはじめたらさきりがない。このトメアスー村から八時間あまり船でアカラ河を下ると、ベレンに達するが、そこには幾十カ所歩の原始林がある。あたりは幾十カ所歩の原始林である。日本人もチラホフ入植して、五十歩歩から百歩歩、郡役所から無償で下付して貰う。この地方も私は巡回したさい、実に立派な原始林があり、そこに点々と二抱え又は三抱えのパラ栗が生えているのを見て、いたちようどそのころは落葉がすんで若葉が繁っており、それがパラ栗が遠くからでもよくわかつた。そこで私はトメアスー村巡回の帰途、飛行機でアカラ村地帯を通るので、ウンと低空飛行をしてみたら、ついでに原林を空から眺めることかできた。がざりない新緑の森の中にもクムクムと若緑のかたまりが点々と見える。かえてみると大体十歩歩大に九十本ほどのパラ栗があるらしい。一本の栗が二年目に一回実をつけ、平均一本で五千円の収穫があるから五十町と計算して一年おきに二十万五千円が耕作せられて収入となるわけだ。正に山の幸である。

花の御礼

ひばり楽団

- バストス日伯文化協会様
- 内館スミ子様 石橋長見様
 - 豊島喜一様 阪東丞一様
 - 宮崎宇真館様 中央岡田様
 - 能見利八様 三次武雄様
 - 梶田商店様 佐藤一男様
 - 小我田呉服店様 河西静男様
 - 三次益雄様 三ッ口西川様
- 内館 姉妹より御礼
- 岡本恵子様 福森輝夫様
 - 内藤重太郎様 前山商店様
 - 浅野トシ子様
- 福森三姉妹より御礼
- 柳浦竜太郎様 梶田商店様
 - 倉本流濯店様 岡村きさ子様
 - 柳浦竜太郎様 福森 総様
 - 三次武雄様 梅津虎平様
 - 中央岡田様 板垣悦子様
 - 川辺イサノ様 梶田商店様
 - 古谷みえ様 野島みづ子様
 - 倉本流濯店様 不ト島本様
 - 坂本洋子様 坂本ヨウ子様
 - 柳浦竜太郎様 志牟田勝利より御礼
 - 吉浦秀次郎様 萩原友四郎様
 - 柳浦竜太郎様 小沢将男様
 - 古谷みえ、ハウロ。
 - 内藤重太郎様 梶田商店様
 - 三ッ口武雄様 原野小冬様
 - 柳浦竜太郎様 キコシタ古川様
 - 遠藤常治様 北森敏夫様
 - 田添トミ子様 竹内一恵様
 - 柳浦竜太郎様 橋元てい子様
 - 福森輝夫様 古谷フミ子様
 - 梅田ナミエ様 井口 様
 - 前山商店様 鯉島サトミ様

こそころ御注意

去る七月十日午後一時ウロリア区志牟田家に三十前後のマスカウテが小間物を売りに来て、まもなく家人の隙をうかがい、家中をかきまわして現金十六コント及び新しいシャツ類を荒された。とうもそのマスカウテではないかと思われ、フジがあるという。その男はやせ型で目が鋭く白人である。

空巣身同の表面はマスカウテ？ シツ子の方は、ご注意下さい。

○ 沖山テル子へ下さる
 二六六無名子様
 ○ 佐藤かおえへ下さる
 友谷和子様 内藤重太郎様
 山口きよ 岩崎アキ
 安藤すみ子 橋本てい
 三ノ島本 小林小久
 古沢かつ子 渡辺しげ子
 中原菓子店 原野君子
 織田しつ 重道商店
 早川靴店
 ○ 荒木姉妹に下さる
 内藤つぎえ様 山口きよ様
 三ノ島本 梶田商店
 ○ 戸田あや子へ下さる
 竹内 様 フォト島本様
 武田よし子様
 ○ 山口絹代へ下さる
 中原菓子店様 岩崎あき様
 佐藤武 様 フォト島本様
 ○ 田添とみ子へ下さる
 梶田商店様 古谷フサ子様
 ○ 緒万姉妹へ下さる
 岡村 様 古谷ふみ子様
 星野とみ子 田中国治様
 佐藤孝子 三宅圭子様
 西見吾市 三ノ島本様
 緒方嘉作 渡辺えい子
 戸田勝
 ○ 竹内チリへ下さる
 緒方ひとみ 様 橋元ちえ子様
 嬉野義雄 様 田添とみ子様
 廻田
 ○ 永松ナイルへ下さる
 戸田ツイ子 様 バール水口様
 伊藤妙子 小西
 長谷川すい様
 ○ 野中嬢へ下さる
 フォト島本様
 ○ 古沢姉妹へ下さる
 鮫島里美 様 佐藤孝子様
 守越商店 様 中原商店様
 古谷みえ 様 藤本栄治様
 安藤まさ子 安藤すみ子
 重道商店
 ○ 吉木姉妹へ下さる
 渡辺洗濯店 様 フォト島本様
 緒方初江 様 田添とみ子
 井口
 ○ 緒方朝子 橋元千枝子へ
 鮫島里美 様 宮本公代 様
 ○ 吉本 嬢へ下さる
 フォト島本様

○ 原野きみ子へ下さる
 織田しづ様 竹田 務 様
 内館すみ子 諸角 興吉 様
 西村和夫 安藤まさ子
 橋元てい
 ○ 原野姉妹へ下さる
 渡辺しほ子 田川すみ江様
 古谷みえ 佐藤武子
 戸田ツイ子 石川武曾
 緒方朝子
 ○ 古谷 滝本衣裳係へ下さる
 古沢かつ子様
 ○ 河本アキ子へ下さる
 竹田 務 様 内藤重太郎様

♡ 衣裳及び物品拝借御礼
 此の度の演芸会に際しお大切なものを拝借し又種々御援助賜りまして誠にありがとうございました。おかげに無事出演出来、舞台を勤めることができましたのも皆様のお蔭と心から御礼申上げらるるものでございます。

バストス劇団 様 一同
 谷口秋子
 大高治夫
 味野
 緒方
 島本道化粧係
 宮武カツラ 係

御礼
 金一封也
 演芸奨励金として御寄賜有難く御礼申上げます
 フラタク演芸部
 バストス日伯文化協会御中

入植祭 その他
 系子
 移民等の故郷といわれバストスは入植祭と共に古り行く
 入植祭すきくたびれ果てし如木の葉よこれのルア
 魔のクルバ過ぎて眩ゆき冬の日を窓より浴びてかそかなる安堵
 霜除きの作業忙しげなる人
 夕陽はとみに冷えてゆく如
 向ふまた一人減る夜のうたけの灯
 時雨ふる窓に 暗し明滅

入植祭 すきくたびれ果てし如木の葉よこれのルア
 魔のクルバ過ぎて眩ゆき冬の日を窓より浴びてかそかなる安堵
 霜除きの作業忙しげなる人
 夕陽はとみに冷えてゆく如
 向ふまた一人減る夜のうたけの灯
 時雨ふる窓に 暗し明滅

御 礼

私方の長男セルジオ儀去る七月十三日夜ツパン市付近州道に於て交通事故のため重傷を被りツパン市サンタカーザに於て治療中のごさいました。今日まで主治医野口ドクトールが全力を御尽し下さいました。ツパンでは此れ以上治療設備なき故サンパウロ市より専門医を迎え相談の上、聖市にて豫後を養うが萬全の道ならんとの事でありました。本日(七月廿一日)午前八時半自動車にて迎えにお出で下さった作田先生と共に帰聖の途につきました。

一時は生命の程も気遣れましたのに神明の御加護により一命は取り止めましたものの全快迄には日も遠く腰部には未だギブスを着けままの帰途でございます。かようの次第でありますのでこの度の不慮の件に皆様より御手厚い御見舞を受け居りますにも拘わらず御礼に伺う事もできませんので偏に御寛容の程御願ひ申上げます。皆様の御芳情に対し御挨拶にも伺えないのは返すがえすも不本意では御座います。が事情御諒察の上何卒御看過下され度々畧儀失礼乍ら紙上を以て御挨拶申上げます。

七月廿一日 朝

父 高 橋 明

祖父 前 田 幸 一

サンパウロ市在住

知友の皆様

御 礼
金一封也

去る七月十二日入植祭当日会館を使用
なさいました謝礼として御寄付下さいま
した。有難うございました

生長の家バスロス 誌友会
バスロス日伯文化協会御中

御 礼

金二十コントス也

右ハイグレージヤの天井及壁のレホッキ
工事に対し費用の一部にと御届け下さい
ました。御厚意深謝申し上げます

七月十五日

ライオンズ倶楽部
イグレージヤ建設委員会

バスロス
婦人会御中

御 礼

金一封

生長の家誌友相愛会へ
下さる

故繁様の御不幸深悼申上ります。尚
御追善の思召を以って当団へ御寄贈の段
有難く拝受致しました

藤井光雄様

御 礼

金一封

長男繁様御葬儀に際し香奠返しとして
御寄贈。有難く頂戴いたしました

バスロス佛教婦人会

藤井光雄様

御 礼

金一封

故繁様の御葬儀に当り御寄贈下さい
ました。謹んで御冥福祈念申し上げます

バスロス南米本願寺

藤井光雄様

おことわり

編集人数日旅行のため本
号いつもより発行がおく
れました。その他広告依頼を受けた分全
部本号へのせられず次号へ廻りますから
おわがいたします

御 礼

金二十コントス也

故御令国静子様の一周年忌彌撒をなさ
いました時、追善の思召を以って御贈り
いただきました

バスロス 聖母婦人会

吉浦秀次郎様

花の御礼

入植祭演芸会で左の方々から御花をい
ただきました。御礼申し上げます

内馬場ソヨ子

倉本よし子様

岡田 様

友谷和子

榎浦竜太郎

御 礼

去る六月十六日ウニベルソ付道で交通
事故がありました。私に負傷致しまし
たが、お蔭で全治し歩行の不自由もござ
りません。当時皆様から御見舞を頂き誠
にありがとうございます。遅延してす
みません。紙上で御礼申し上げます

シヤーカー区 内馬場文子

皆々様へ

花の御礼

入植祭演芸会の御花ありがとうございました
ました

味野俊子

山内武彦様

河本忠雄

宇佐美ミナ子様

友谷和子

岡田トシ子

梶山米子

豊島香江子

三宅秀子

今野 子

河本幸雄

内藤 築江

黒川あや子

富山 喜人

藤井誠子

清家ルミ

真野四郎

谷崎 喜人

池田梅乃

榎浦竜太郎

奥田ナミ子

榎田 喜人

吉本幸子

小茂田 喜人

三武島本

佐藤マサ子

川辺イサノ

栗田 喜人

林アリセ

宮崎 喜人

遠藤常治

前山商店

花の御礼

入植祭演芸会出演御花ありがとうございました

友谷和和子

河本様 三次モミ様 早川靴店様 榎山米子様 加藤美隆様 小林小久様 伊藤好子様 古川鶴一様 内藤芳枝様 上原一臣様 亀田百子様 水本幸子様 豊島春江様 鳴原好子様 味野敏子様 浅野トシ子様 戸田ツイ子様 森下ユイ子様 水馬アンネ様 星野トミ子様 山本エ子様 影本幸枝様

花の御礼

友谷門下生一同

小茂田呉服店様 榎田様 柳浦竜太郎様 宮崎様 水馬アンネ様 早川靴店様 星野トミ子様 田中聖様

花の御礼

過日入植祭演芸会に出ました処皆様から御花を頂戴いたしましたして誠にありがとうございました

榎田満恵子

田結庄武雄様 樋口ヒサヨ様 柳浦竜太郎様 福森輝夫様 西見様 川辺イサノ様 板垣恭熊様 今野様 友谷和子様 小林正名様 フト島本様 筒井節様 川上励様 板垣悦子様 亀田百子様 キタ古川様 小林小久様 島本サロン様 早川靴店様 光石タケノ様 岡田様 山川モキ様

花の御礼

入植祭演芸会に出演し未熟な芸にも拘わらず過分な御花を頂き誠に有難うございました 紙上にて厚く御礼申し上げます

豊島ハル工

戸田ツイ子様 三次武雄様 清家重雄様 黒川ヒト工様 小林小久様 フト島本様 池田健様 友谷和子様 岡田様 板垣悦子様 池田ミチヨ様 谷口スミ子様 池田トモエ様 味野トシ子様 新谷清子様 廻田様 中井栄子様 榎田様 小谷様 柳浦竜太郎様 小林茂子様 中原一郎様 渡辺ナミ子様 板垣恭熊様 パール水口様 吉本幸子様

花の御礼

演芸会出演の御花ありがとうございました クロリアI女子青年団

坂口義一様 柳浦パール様 山根三郎様 桑原久次郎様 宮崎写真館様 倉本様 矢野武信様 榎田商店様 小茂田呉服店様 伊藤時子様 島本写真館様 水本幸子様 小沢とし子様 中原菓子店様 増田駒一様 豊島春江様 今野様 榎原清様 岩田代治様 若野耕一様 前山商店様

花の御礼

入植祭演芸会に出演し御花を頂きありがとうございました 直原千鶴子

古谷みえ様 河本幸雄様 ホテルウサミ様 板垣恭熊様 遠藤常治様 河本忠雄様 富山様 豊島春江様 榎田様

花の御礼

影本幸江

佐藤寛様 山本栄子様 味野トシ子様 佐藤かおる様 佐藤信子様 友谷和子様

七月三十一日(金) 八時 八月一日(土) 九時半 *Encanto das Jovens*
 東宝 秋田おはこ 美空ひばり、こまどり姉妹、山下潤一郎、南広、中原ひとみ
 プレリゴルド

八月二日(日) 九時半 八月三日(月) 八時 *Ratos da estepe*
 東宝 ^{以上}とぶ羊作戦 加山雄三 佐藤允 凄絶ノ痛快ノ絶対面白い
 プレリゴルド 夏木陽介 大活劇!

八月七日(金) 八時 八月八日(土) 九時半 *Yomivel pesadelo*
 松竹 死闘の伝説 山石下志麻 加賀まりこ 大雪山に轟く怒りの銃声
 プレリゴルド 加藤剛 田中絹代 憎悪に狂った非情の銃弾

八月九日(日) 九時半 八月十日(月) 八時 *Sombras de uma passado*
 東宝 河のほとりて 加山雄三 淡島千景 山村聡 池内淳子
 天然色 星由里子 草笛光子 加東大夕 乙羽信子
 大胆に美しい恋を描く 話題の文芸大作

八月十四日(金) 八月十五日(土) *Junto a quella ponte 3o Epoca*
 松竹 天然色 あの花の畔で (第三部) 桑野みゆき 南原宏治
 アンコールワットに再び祈る恋 混血娘エリナの思慕

Aviso de Cine-Bastos
 (みな、リフレですから 五オ以上おいで下さい)

太郎田や懸賞
 グイズ

問題 ？？？？
 物価は騰るでしょうか？
 (解答は次号)

右の問題を正確にお答え下さる方へ
 みしんと自転車
 左の値段で差し上げます。

みしんは現金百三十五コントス
 月賦 三十コト宛 五回 松
 十六コト宛 十回 松
 自転車は
 現金 八〇コントス
 月賦 二十コト宛 五回 松

Casa Taroda
 ☆ 太郎田屋嘉右エ門

花の御礼

入植祭演芸会で頂きました花の御礼
 佐藤かほる

- | | |
|-------|-------|
| 前山商店様 | 岡田はま様 |
| 戸田ツイ子 | 茂庭とく |
| 小林小久 | 竹内きよ子 |
| 影本幸枝 | 山本えい子 |
| 光石美佐子 | 渡辺ちとえ |
| 戸来さきく | 上田幸音 |
| リス白岩哉 | 友谷和子 |
| 川辺いさの | |

花の御礼

去る入植祭演芸会に出演し皆様から御花を頂き
 ありがとうございます

- 堂前朝子
- | | |
|-------|-------|
| 谷口英二様 | 新出菊夫様 |
| 竹内我輝 | 照井トキエ |
| パール水口 | 谷口スミ子 |
| 池田敏雄 | 橋本てい |
| 池田健 | 照井ヨシノ |
| 石ト島本 | 廻田房子 |
| | 新谷清子 |